

ベクトルタイル利用サイトを作ろう

Hidenori FUJIMURA

Geospatial Information Authority of Japan

- ① 導入：ベクトルタイルの概要と未来
- ② GitHubから地理院地図をフォークして、マイ地理院地図を作る
- ③ マイ地理院地図にインターネット上のタイルレイヤを加える
- ④ マイ地理院地図に簡単なベクトルデータを加える(ただしベクトルタイルとして)
- ⑤ 地理院ベクトルタイルを素のLeafletサイトに表示してみる。
- ⑥ 地理院ベクトルタイルの表示内容を調整する

- 【河川中心線】 `rvcclayer < TileLayer.Canvas`
 - `rvccl_style` を変更することで、スタイルを変更できる
- 【道路中心線】 `rdcllayer < TileLayer.Canvas`
 - `rdcl_style` を変更することで、スタイルを変更できる
- 【鉄道中心線】 `railcllayer < TileLayer.Canvas`
 - `railcl_style` を変更することで、スタイルを変更できる
- 【注記】 `annolayer < TileLayer.GeoJSON`
 - http://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/experimental_anno/style.js を代替するスタイルオブジェクトを入れることで、スタイルを変更できる

- 河川中心線、道路中心線、鉄道中心線の仕様やサンプルは、
<https://github.com/foss4g-tokyo-vt/vector-tile-experiment>
- 注記の仕様やサンプルは、
https://github.com/gsi-cyberjapan/experimental_anno

【案1】 /vector-tile-experiment/index.html のアレンジ

- SVGベースで、よりgsimapsの実装に近いもの
- アレンジ版のstyle.jsを適宜レポに置いて読み込ませる方向で

【案2】 スタイルシート系の先進的な事例を学ぶ

- <http://frogcat.github.io/gsi-river/>

【案3】 他のライブラリを試す

- <http://frogcat.github.io/gsi-anno-voronoi/>
 - 注記でボロノイ図、D3使用
- <http://frogcat.github.io/gsi-anno/>
 - Leaflet 1.0b
- <http://gsi-cyberjapan.github.io/vectiles-mapkit/tangram.html>
 - Tangram + 地球地図ベクトルタイル

- 対面での作業は重要であるがスケールしない。
- オンラインでつながることの重要性
- FOSS4G Tokyo Vector Tile Group への参加をお勧めします！

<https://github.com/foss4g-tokyo-vt/living-room/issues/2>